

## 《ガイドライン作成》

### 2021年度社会人カテゴリー新型コロナウイルス対策ガイドライン

#### 1) はじめに

「2021年度社会人カテゴリー新型コロナウイルス対策ガイドライン」(以下、本ガイドライン)は、JBA(公益財団法人日本バスケットボール協会)バスケットボール活動再開に向けたガイドライン第3版)および、茨城県バスケットボール連盟が作成する「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」等を参照し、作成しております。なお、今後、状況に応じて、本ガイドラインについても見直すことがあり得ることにご留意ください。

#### 2) 基本方針

本ガイドラインの策定にあたっては、以下の項目を基本方針として掲げました。

##### (1) 安全最優先

生命・健康の安全を最優先とし、感染拡大のリスクを最大限に排除した、選手・チーム、それらの方のご家族等が安全に活動できる環境を提供します。今大会は無観客での実施とします。

##### (2) 「新しい日常」・「新しい生活様式」への適応

Before コロナの「日常」が即座に戻ることは無いということを前提に、置かれた状況の正確な分析・理解に基づくガイドラインを設計します。

##### (3) FIBA 再開ガイドライン

FIBA(国際バスケットボール連盟)より再開におけるガイドラインが公開されており、バスケットボール競技の特性を考慮しながら作成します。

##### (4) 不当な扱いや差別などの禁止

感染状況で異なる活動差をもって選手やチームを不当に扱う事はせず、感染状況に起因する一切の差別や誹謗・中傷を許容しません。

#### 3) 陽性者/濃厚接触者/体調不良者の定義

##### (1) 「陽性者」とは

以下の症状の有無にかかわらず、「PCR検査・抗原検査により新型コロナウイルス感染症と診断された者」を指します。

～新型コロナウイルス感染症が疑われる症状～

発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など

##### (2) 「濃厚接触者」とは

陽性者の感染可能期間内に接触した者のうち、次の範囲に該当する者を指します。濃厚接触者は陽性者が判明した際に保健所が特定するので、行動履歴の記録は非常に重要です。

- ・陽性者と同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等を含む)があった者
- ・適切な感染防護無しに陽性者を診察、看護若しくは介護していた者
- ・陽性者の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・手で触れることの出来る距離(目安として1 m)で、必要な感染予防策なしで、陽性者と15分以上の接触があった者(周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する)

### (3) 「体調不良者」とは

以下の目安に該当する方と考えられます。

厚生労働省が発表している以下いずれかの目安に該当する方は、「帰国者・接触者相談センター」に相談してください。地域によっては医師会や診療所等で相談を受け付けている場合があります。

1. 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱などの強い症状のいずれかがある場合
2. 重症化しやすい方(高齢者や基礎疾患がある人)で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状等がある場合
3. 比較的軽い風邪が続く。  
※発熱症状が出ない感染ケースもあるため、上記症状を感じた場合は必ず相談してください。

### 4) 感染対策チーム責任者の設置

- ・参加チームは**感染対策チーム責任者(以下チーム責任者)**を設置してください。
- ・**チーム責任者**は、大会への不参加が決定された場合、以下の連絡系統で報告する。

チーム責任者 → 競技責任者(長嶋) → 感染対策委員(山口) → 各会場主任

※ 山口から各会場主任・**感染対策委員**への連絡。

※ **不参加が決定した場合は、即日相手チームに連絡(協議委員より)し、その後の対応を指示する。**

- ・**チーム責任者**は、大会後にチーム内で陽性者が発生した場合、以下の連絡系統で報告する。

チーム責任者 → 競技責任者(長嶋) → **感染対策委員(山口)** → 管轄保健所  
↓  
**審判部感染対策責任者** → 同会場の審判員

※役員で陽性者が出た場合も同様とする。

※大会**感染対策責任者(山口)**は管轄保健所からの指示について**菊池委員長**へ報告する。

・チーム責任者は日常のチーム活動において健康チェック、検温を選手やスタッフが行うことを管理し、陽性者や濃厚接触者が発生した際の保健所との情報連携を行う担当となることが求められます。感染してから対応を考えるだけでなく、いかにして陽性者を出さないようにするか対応を行うことが大切です。

・**チーム責任者**は、大会2週間前にチーム内で**体調不良者・濃厚接触者・陽性者**が発生した場合は以下の連絡系統で報告し、活動についての指示を受ける。

チーム責任者 → **感染対策委員(山口)** → **大会委員長(菊池)**

## 5) 体温チェックシートの記録と管理

・チームスタッフ、選手等、大会の参加者は、大会が開始される2週間前から「体温チェックシート」で健康状態を観察・記録する必要があります。チーム責任者は管理を行ってください。

※ 会場に入場する選手・スタッフ全員の健康チェックシート兼参加承諾書と体温チェックシートの提出が必要になります。エントリー外の選手の健康状態も2週間前からの観察・記録をお願いします。勝ち上がりチームには体温チェックシートを返却するので、退場時に本部受付に立ち寄るのを忘れないようお願いいたします。

※ 健康チェックシートにチェックがつかない場合、当日の体温が37.5℃を越える場合、体調に少しでも不安がある場合は、該当者の出場を見合わせ、大会感染対策責任者まで御報告ください。

※ 御報告頂いた内容・御相談内容を関係者に共有する場合には、必要に応じて個人情報を取り除いた上、共有させていただきます。

### 【体温測定、体調チェック】

体温測定：選手、チームスタッフ、審判、関係者、スタッフは必ず毎日実施してください。

## 6) 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のダウンロードの推奨

・大会参加者は4月27日(火)(大会開催約2週間前)までに、厚生労働省が開発した陽性者との接触を確認するためのアプリで(COCOA)をインストールし、陽性者との接触が無いか確認することを推奨します。参加者がCOCOAによって濃厚接触者と発覚した場合は、感染対策責任者は上記の連絡系統を参照し、連絡してください。事前に配布した「いばらきアマビエちゃん」のQRコードにも大会期間は毎日登録をお願いします。

【参考】厚生労働省:新型コロナウイルス接触確認アプリ

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa\\_00138.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)

体温チェックシートその1

(チーム名)	男-女
(連絡先)	

感染対策チーム責任者

(氏名)	印
(連絡先)	

管理号/役職	氏名	起床時体温																			
		月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日
監督		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
コーチ		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
Aコーチ		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
マネージャー		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
トレーナー		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
選手		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
選手		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
選手		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
選手		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
選手		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
選手		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
選手		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
選手		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
選手		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
選手		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
選手		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
選手		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
選手		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	
選手		☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	☺	

※入場するスタッフ・選手全員の体温を記入してください。  
 ※体温で37.5℃以上の発熱があった場合は、入場をお断りします。  
 ※受付で検出をお願いします。  
 ※記録内容に虚偽があった場合は、参加を取り消します。

大会主催者確認欄				大会主催者確認欄			
月日		月日		月日		月日	

- ※ 事前に EXCEL ファイルをお送りします。ご確認ください。
- ※ 所属する部員全員の体温のチェックをお願いします。部員数が多い場合は、事前にお送りする EXCEL ファイル内に「体温チェックシートその2」がありますので、そちらに記入をして、当日提出してください。
- ※ 必ずチーム責任者が管理を行ってください。選手の健康観察と共に毎日行うことが必須となります。

## 健康チェックシート

本健康チェックシートは、本大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。

本健康チェックシートに記入いただいた個人情報について、大会実行委員会は、厳正なる管理のもとに保管し、大会運営関係者の健康状態の把握、来場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要範囲で保健所等に提供することがあります。

### <基本情報>

チーム名		代表者 連絡先	
フリガナ		生年月日	西暦 年 月 日
氏名		電話番号	
		Eメール アドレス	
住所	〒		

### <大会当日までの体温>

日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温	日付	起床時体温
/ ( )	℃	/ ( )	℃	/ ( )	℃	/ ( )	℃
/ ( )	℃	/ ( )	℃	/ ( )	℃	/ ( )	℃
/ ( )	℃	/ ( )	℃	/ ( )	℃	/ ( )	℃
/ ( )	℃	/ ( )	℃	/ ( )	℃	/ ( )	℃

<大会前2週間における健康状態> ※該当するものに「✓」を記入してください。

チェック項目	チェック欄
① 平熱を超える発熱がない	
② 咳（せき）、のどの痛みなどの 風邪症状がない	
③ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない	
④ 臭覚や味覚の異常がない	
⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等がない	
⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない	
⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない	
⑨ その他、気になること（以下に自由記述）	

（大会参加者が未成年の場合）保護者 確認欄

保護者 氏名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ Eメールアドレス \_\_\_\_\_

確認日 西暦 年 月 日

※ 事前に EXCEL ファイルでお送りします。大会期間中は毎日提出してください。

## 7) 感染または、感染の疑いがある場合の報告事項

### 【参加資格】

(1) 選手、チームスタッフは大会2週間前から当日において、以下に該当しないこと。

- 1 37.5℃以上の発熱がある
- 2 咳(せき)、のどの痛み、などの風邪症状がある
- 3 だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)がある
- 4 臭覚や味覚の異常がある
- 5 体が重く感じる、疲れやすい等がある
- 6 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある
- 7 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- 8 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

※ 上記に該当した際は、主催者にて大会参加を取り消す場合があります。感染対策委員にご相談ください。

(2) 「チーム内に感染が疑われる者がいない」そして「試合を行うための選手のコンディションが整っている」の2つの条件が最低限揃うこと。

### 【その他通知要項】

(1) 大会への出場権を得たチーム・選手は、大会が定めるガイドラインの各種事項について遵守するものとし、虚偽等は一切あってはならない。

※ガイドラインの読みあわせを大会前に実施します。

・感染対策委員長 → 大会参加チーム責任者

(2) 各チームの責任者は、大会当日に健康チェックシート兼参加承諾書(入場するチームスタッフおよび選手分)と体温チェックシートを受付で提出し、会場への入場許可をもらうこと。(検温結果および健康状態によっては入場をお断りする場合がある)。感染対策責任者は、入場時と退場時に必ず本部に寄ってください。勝ち上がりチームには体温チェックシートを返却します。

(3) 「上記【参加資格】の(1)」の事項を含め、新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した際は、試合中であつたとしても出場資格を取り消す場合がある。

(4) 出場する試合の2週間前からにおいて、新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した場合は、その者の来場と試合への出場を不可とする。加えて当該チームのチーム責任者は、前述の体調不良者との濃厚接触者を確認し、大会本部と協議のうえ、非接触者と断定できる選手が5名以上揃わない場合は不戦敗とする。また、体調不良者が発生した後で、保健所等の判断を仰ぐにあたり、その後の大会運営等に大きな支障をきたす場合は大会を中止する場合がある。

(5) 政府や都県から新たな措置(緊急事態宣言や自粛要請等)が発出された場合は大会を中止する場合があります。また不可抗力により、出場チームから辞退が多々発生した際は、大会主催者にて大会中止を検討し、中止可否を決定後、速やかに参加チームに通知する。

※大会を中止する場合の要件

- ・緊急事態宣言中
- ・茨城県バスケットボール連盟より実施不可の指示が出た場合
- ・大会を実施するのに十分な練習期間が保てない場合
- ・茨城県コロナNext ステージ4の場合

## 8) 「新しい生活様式」に加え、バスケットボールを行う上での感染対策

- ・マスクの着用やソーシャル・ディスタンス確保の徹底、基本的な衛生エチケットを遵守する。
- ・手指消毒液など、試合や練習では広く使用できるように準備し、頻繁に手洗いを実施する。
- ・スポーツ施設・用具器具、その他の備品も頻繁に消毒する。

※バスケットボールの消毒に関しては、ボールそのものの劣化を招く可能性があるとしてされていますので、指定ボールメーカーの「お手入れ方法」に従い実施する。

- ・タオルの共有はしない。
- ・ボトルのまわし飲みをしない。飲みきれなかったドリンクは持ち帰ること。

### (1) 諸室

- ・各部屋に手指消毒液を設置する。
- ・全てのドア及び窓を開け、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。
- ・座席を設置する際に前後左右1.5m～間隔を空け、お互いが正面に座らないよう配慮する。
- ・机は最小限だけ置く。

### (2) 手洗い場所・トイレ

- ・便器のふたを閉めて汚物を流すよう表示する。
- ・手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を用意する。
- ・「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ・手洗い後に手を拭くためのペーパータオル(使い捨て)を用意する。

(布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しない。)

- ・手指消毒液を設置する。

### (3) 更衣室・ロッカールーム

- ・広さにはゆとりを持たせ、利用者同士が密になることを避けること。
- ・ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する利用者の数を制限する、別室を用意するなどの措置を講じる。
- ・室内またはスペース内で複数の利用者が触れると考えられる場所(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等)については消毒する。
- ・換気扇を常に回す、2つ以上のドア、窓を常時開放して換気を行う。
- ・利用者はロッカールームの滞在時間を短くするため着替えに限定する。使用中の会話は控える。







